

岡山市道路台帳項目データ製品仕様書

＜地図情報レベル 1000＞

令和 4 年 8 月

岡山市 都市整備局 道路部 道路港湾管理課

目 次

1. 概覧	1
1.1. 製品仕様書の作成情報	1
1.2. 目的	1
1.3. 空間範囲	1
1.4. 時間範囲	1
1.5. 引用規格	1
1.6. 用語と定義	1
1.7. 略語	1
2. 適用範囲	2
2.1. 適用範囲識別	2
2.2. 階層レベル	2
3. データ製品識別	2
3.1. 空間データ製品の名称	2
3.2. 日付	2
3.3. 問い合わせ先	2
3.4. 地理記述	2
4. データ内容及び構造	3
4.1. 応用スキーマ UML クラス図	3
4.2. 応用スキーマ文書	9
5. 参照系	35
5.1. 座標参照系	35
5.2. 時間参照系	35
6. データ品質	36
6.1. 品質要求及び品質評価手法	36
7. データ製品配布	37
7.1. 書式名称	37
7.2. 符号化規則	37
7.3. 文字集合	37
7.4. 言語	37
7.5. 配布単位	37
7.6. 配布媒体名	37
8. メタデータ	37
8.1. メタデータの作成指示	37
8.2. メタデータの形式	37
8.3. 記載項目	37
8.4. 作成単位	37
9. その他	37

附属書

附属書 1 岡山市道路台帳図式規程第 1 版

1. 概覧

1.1. 製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は、次のとおりである。

- ①名称：岡山市道路台帳項目データ製品仕様書
- ②日付：令和3年6月30日作成
令和4年8月31日更新
- ③作成者：岡山市 都市整備局 道路部 道路港湾管理課
- ④言語：日本語
- ⑤分野：道路台帳
- ⑥文書書式：PDF

1.2. 目的

本製品仕様書に基づく空間データ製品は、道路台帳電子化業務及び道路台帳補正業務で作成される岡山市道路台帳平面図データであり、道路管理システム等で共通利用されるとともに、他分野における道路形状確認など道路維持管理の効率化・高度化を図ることを目的として作成、更新されている地形図データである。

1.3. 空間範囲

作成するデータの空間範囲は、仕様書の通りとする。

岡山市認定道路区域

座標参照系の測地原子は JGD2011 を指定する。JGD2011 は、平成 23 年 10 月 21 日時点の測量法施行令（昭和 24 年政令第 322 号）第 2 条及び第 3 条を典拠とする。

1.4. 時間範囲

本仕様書で作成する数値地形図データの時間範囲は特に定めない。

1.5. 引用規格

- ・測量法
- ・測量法施行規則
- ・岡山市公共測量作業規程 平成 20 年 8 月（準則）
- ・地理情報標準プロファイル（JPGIS）2014
- ・地理空間データ製品仕様書作成マニュアル JPGIS2014 版
- ・品質の要求、評価及び報告のための規則 Ver1.0
- ・測量成果電子納品要領（案）国土交通省平成 28 年 3 月

1.6. 用語と定義

本製品仕様書で使用する専門用語とその定義は、次の基準にしたがう。

地理情報標準プロファイル（JPGIS）2014 附属書 5（規定）定義

1.7. 略語

本製品仕様書で使用する略語については、次のとおりである。

JPGIS	Japan Profile for Geographic Information Standards（地理情報標準プロファイル）
JMP	Japan Metadata Profile（日本版メタデータプロファイル）
UML	Unified Modeling Language（統一モデリング言語）
XML	Extensible Markup Language
PDF	Portable Document Format

2. 適用範囲

本製品仕様書の適用範囲は、次のとおりとする。

2.1. 適用範囲識別

岡山市道路台帳項目データ製品仕様書 適用範囲

2.2. 階層レベル

データ集合

3. データ製品識別

3.1. 空間データ製品の名称

岡山市道路台帳項目データ

3.2. 日付

令和8年3月31日

3.3. 問い合わせ先

岡山市 都市整備局 道路部 道路港湾管理課
TEL. 086-803-1415

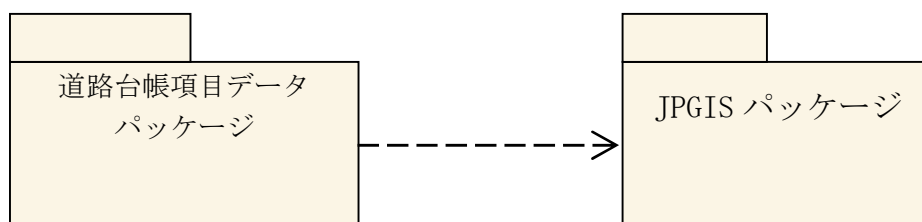
3.4. 地理記述

岡山県岡山市

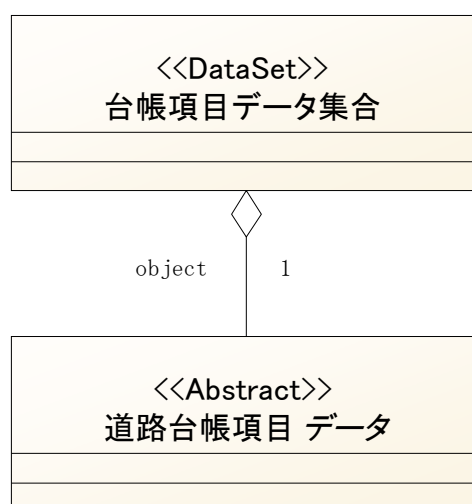
4. データ内容及び構造

4.1. 応用スキーマ UML クラス図

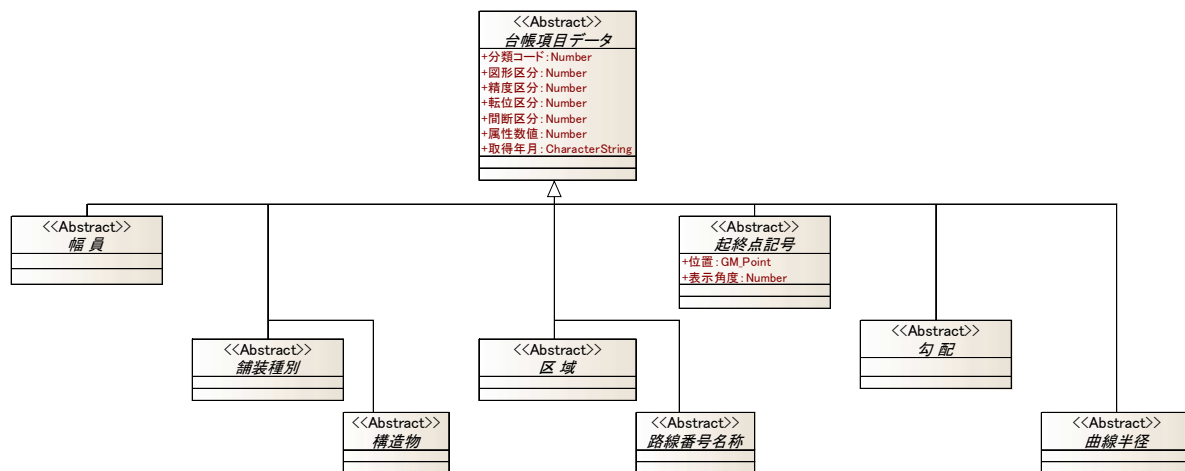
道路台帳項目データ 応用スキーマ



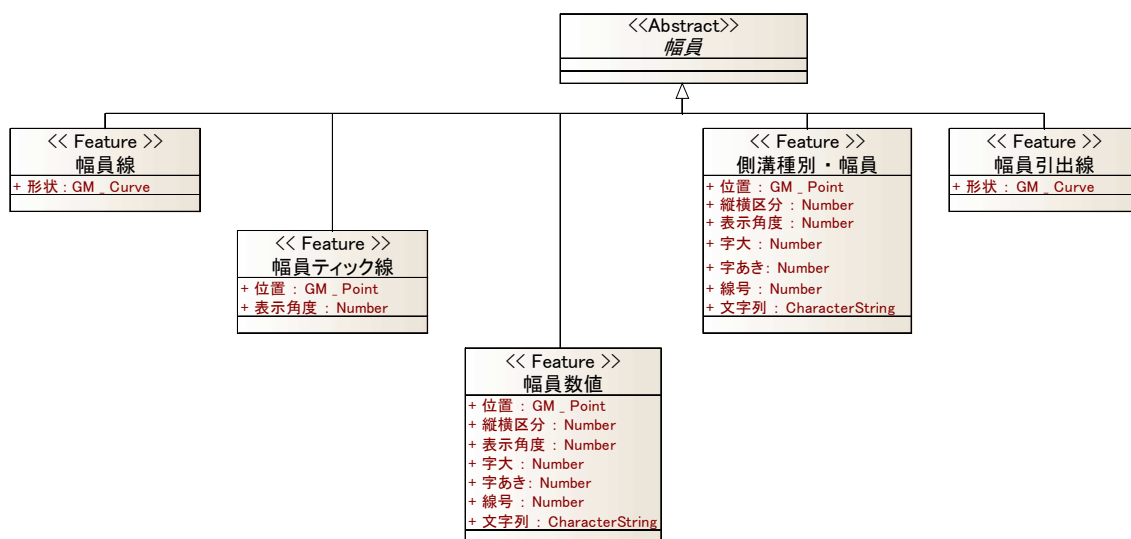
道路台帳項目データパッケージ



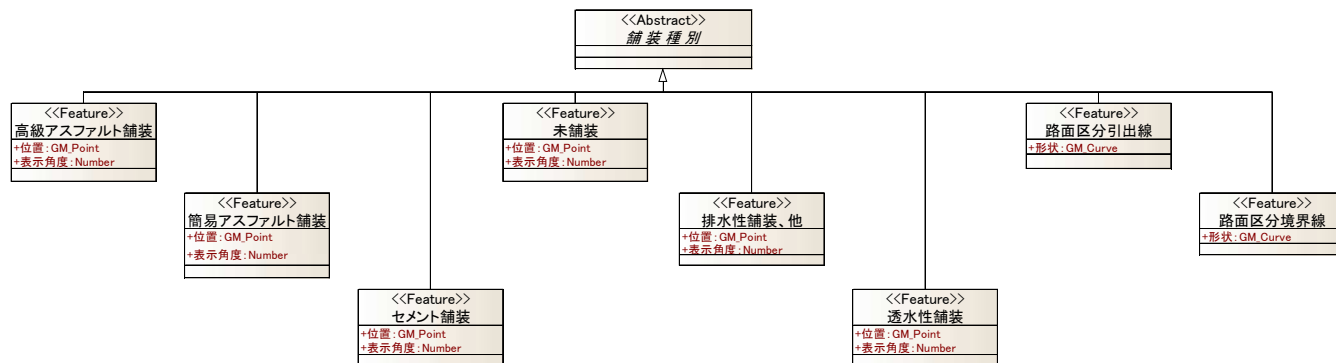
道路台帳項目データ



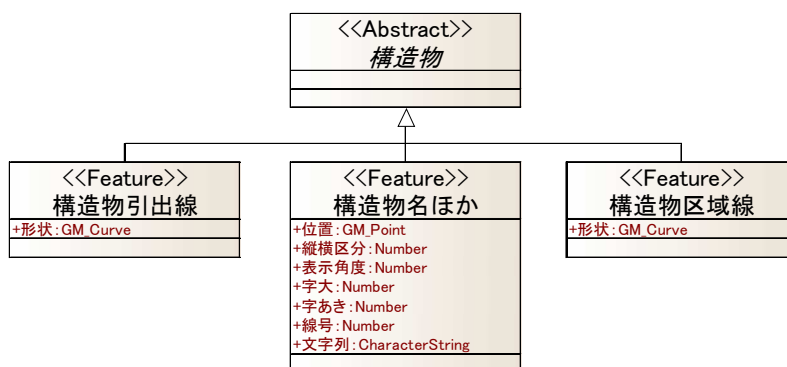
幅員



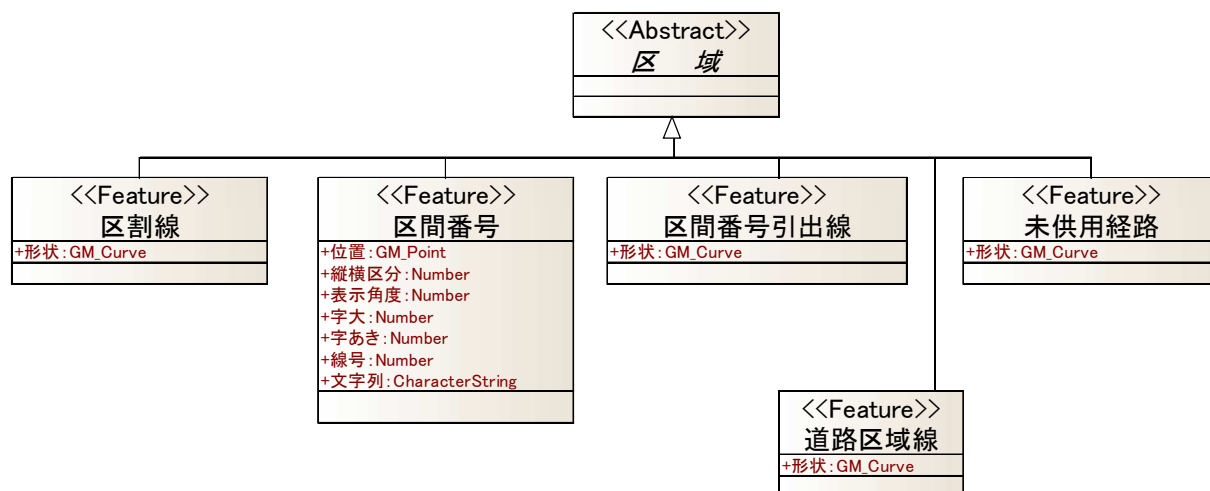
舗装種別



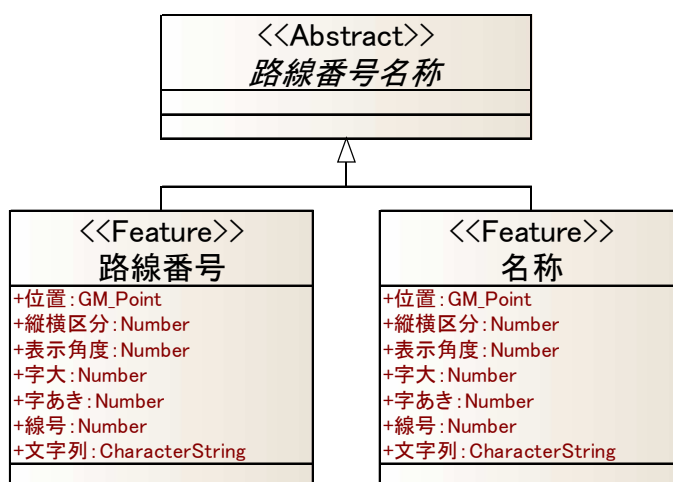
構造物



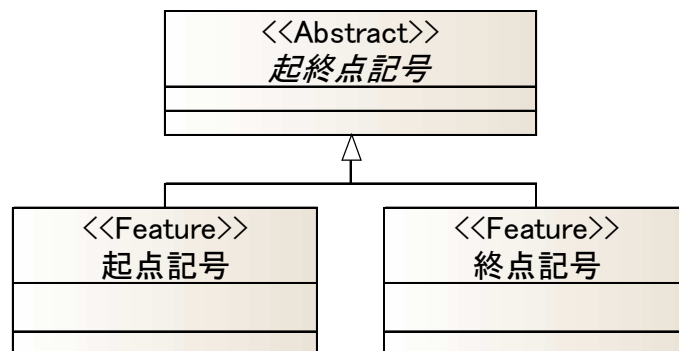
区 域



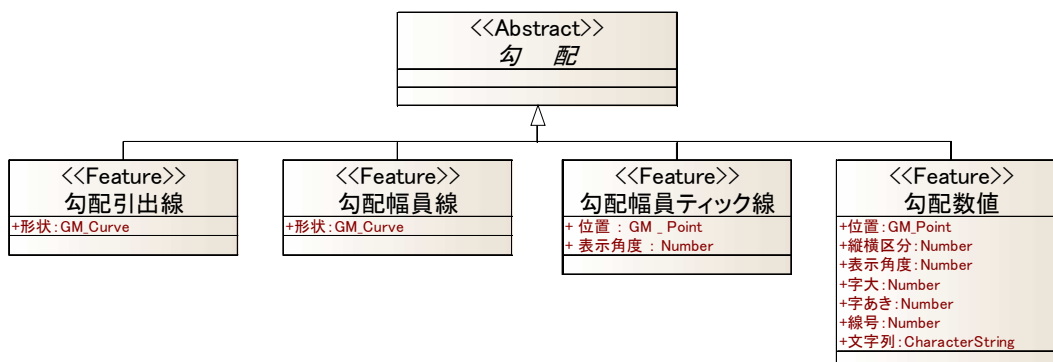
路線番号名称



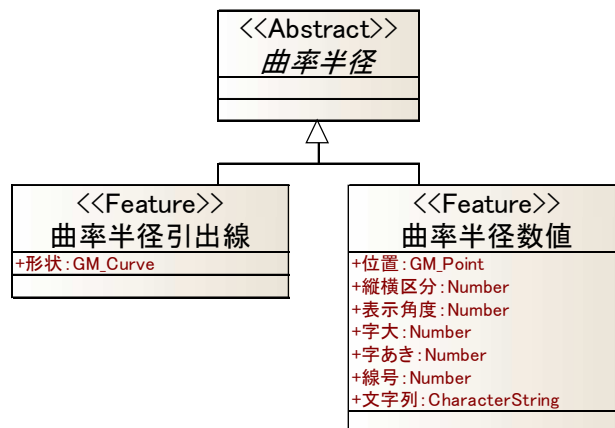
起終点記号



勾配



曲率半径



4.2. 応用スキーマ文書

道路台帳項目データパッケージ

定義

このパッケージは、道路台帳項目データ集合が格納されるパッケージである。

道路台帳項目データ集合パッケージ

定義

道路台帳項目データで利用されるデータの集合である。

上位クラス : なし

抽象/具象区分 : 抽象

属性 : なし

関連役割 :

object[1] : 道路台帳項目データ

道路台帳項目データ集合を構成する1つの道路台帳項目データ。

道路台帳項目データパッケージ

定義

道路台帳項目データ集合に含まれる全ての台帳項目である。地図情報レベルは、1000 である。

上位クラス :道路台帳図データ集合

抽象/具象区分 : 抽象

属性 :

分類コード : Number

付属書1 : 「道路台帳項目データ図式規程第1版」に準拠するDM分類コード。

図形区分 : Number

付属書1 : 「道路台帳項目データ図式規程第1版」に準拠する図形区分。

精度区分 : Number

「岡山市公共測量作業規程 標準図式 数値地形図データファイル仕様」に準拠する精度区分。

転位区分 : Number

図上表現を優先し、転位しているかいないかの区分（転位区分）。転位しない場合は「0」、転位している場合は「1～9：右側への転位、-1～-9：左側への転位」とする。

間断区分 : Number

図上表示するかしないかの区分（間断区分）。間断しない場合は「0」、間断する場合は「1～9：数値は優先順位」とする。

属性数値 : Number

標高（高さ）情報（mm単位：TP：東京湾平均海面基準）。

取得年月 : CharacterString

オブジェクトの作成年月（更新年月）。西暦の下2桁及び月2桁で格納する。

関連役割 :

構成要素[1..*] : 台帳項目

台帳項目データを構成する台帳項目。ただし、構成要素となり得る台帳項目は、以下のクラスの下位に定義されている項目のみである。

構成要素となり得る台帳項目

幅員、舗装種別、構造物、区域、路線番号名称、起終点記号、勾配、曲率半径に定義されている地物

注意事項

道路台帳項目データに含まれる道路台帳項目の取得方法、取得基準の詳細及び描画方法等については、付属書1「道路台帳項目データ図式規程第1版」を参照。

幅員

幅員には、幅員線、幅員線ティック、幅員数値、側溝種別・幅員、幅員引出線が含まれる。

上位クラス : 道路台帳項目データ

抽象/具象区分 : 抽象

属性 :

上位クラスである道路台帳項目データの属性に従う。

関連役割 :

幅員線

幅員を表示する際に使用する幅員線をいう。

上位クラス : 幅員

抽象/具象区分 : 具象

属性 :

上位クラスである幅員の属性に従う。

形状 : GM_Curve

幅員線の形状

<取得基準>

幅員数値が示す範囲線を取得する。

関連役割 :

幅員ティック線

幅員を表示する際に使用する幅員線の両端に表示する。

上位クラス : 幅員

抽象/具象区分 : 具象

属性：

上位クラスである幅員の属性に従う。

位置：GM_Point

ティックの位置

＜取得基準＞

ティックの真位置及び方向を取得する。

表示角度：Number

オブジェクトの初期設定方向を基準「0」としたオブジェクトの表示角度。左回りの角度を「+」、右回りの角度を「-」で表す。

関連役割：

幅員数値

該当する箇所の幅員数値を表示する。

上位クラス：幅員

抽象/具象区分：具象

属性：

上位クラスである幅員の属性に従う。

位置：GM_Point

注記の表示位置

＜取得基準＞

注記の表示位置及び方向を取得する。

縦横区分：Number

縦横区分。横書きの場合は「0」、縦書きの場合は「1」とする。

表示角度：Number

注記の表示方向を表す角度。左回りの角度を「+」、右回りの角度を「-」で表す。

字大：Number

文字の大きさ。単位は、10分の1ミリメートル。

字あき：Number

文字の間隔。単位は、10分の1ミリメートル。

線号：Number

文字の太さ（線号で表す）。1号の場合は「1」、2号の場合は「2」．．．7号の場合は「7」とする。1号を太さ0.05mmとして、1号上がる毎に、太さが0.05mm加算される。7号は、太さ0.35mmとなる。

文字列 : **CharacterString**

注記文字列。

関連役割 :

側溝種別・幅員

側溝の種別とその幅員数値を表示する。

上位クラス : 幅員

抽象/具象区分 : 具象

属性 :

上位クラスである幅員の属性に従う。

位置 : **GM_Point**

注記の表示位置

<取得基準>

注記の表示位置及び方向を取得する。

縦横区分 : **Number**

縦横区分。横書きの場合は「0」、縦書きの場合は「1」とする。

表示角度 : **Number**

注記の表示方向を表す角度。左回りの角度を「+」、右回りの角度を「-」で表す。

字大 : **Number**

文字の大きさ。単位は、10分の1ミリメートル。

字あき : **Number**

文字の間隔。単位は、10分の1ミリメートル。

線号 : **Number**

文字の太さ（線号で表す）。1号の場合は「1」、2号の場合は「2」．．．7号の場合は「7」とする。1号を太さ0.05mmとして、1号上がる毎に、太さが0.05mm加算される。7号は、太さ0.35mmとなる。

文字列 : **CharacterString**

注記文字列。

関連役割 :

幅員引出線

幅員数値を引き出して表示する際に使用する引き出し線をいう。

上位クラス：幅員

抽象/具象区分：具象

属性：

上位クラスである幅員の属性に従う。

形状：GM_Curve

幅員引出線の形状

<取得基準>

幅員数値を表示する位置までの方向線を取得する。

関連役割：

舗装種別

舗装種別には、高級アスファルト舗装、簡易アスファルト舗装、セメント舗装、未舗装、排水性舗装他、透水性舗装、路面区分引出線、路面区分境界線が含まれる。

上位クラス :道路台帳項目データ

抽象/具象区分 : 抽象

属性 :

上位クラスである道路台帳項目データの属性に従う。

関連役割 :

高級アスファルト舗装

高級アスファルトで舗装されているものをいう。

上位クラス : 舗装種別

抽象/具象区分 : 具象

属性 :

上位クラスである舗装種別の属性に従う。

位置 : GM_Point

舗装種別の位置

<取得基準>

舗装種別の真位置及び方向を取得する。

表示角度 : Number

オブジェクトの初期設定方向を基準「0」としたオブジェクトの表示角度。左回りの角度を「+」、右回りの角度を「-」で表す。

関連役割 :

簡易アスファルト舗装

簡易アスファルトで舗装されているものをいう。

上位クラス：舗装種別

抽象/具象区分：具象

属性：

上位クラスである舗装種別の属性に従う。

位置：GM_Point

舗装種別の位置

<取得基準>

舗装種別の真位置及び方向を取得する。

表示角度：Number

オブジェクトの初期設定方向を基準「0」としたオブジェクトの表示角度。左回りの角度を「+」、右回りの角度を「-」で表す。

関連役割：

セメント舗装

コンクリートで舗装されているものをいう。

上位クラス：舗装種別

抽象/具象区分：具象

属性：

上位クラスである舗装種別の属性に従う。

位置：GM_Point

舗装種別の位置

<取得基準>

舗装種別の真位置及び方向を取得する。

表示角度：Number

オブジェクトの初期設定方向を基準「0」としたオブジェクトの表示角度。左回りの角度を「+」、右回りの角度を「-」で表す。

関連役割：

未舗装

砂利道等であり、舗装されていないものをいう。

上位クラス：舗装種別

抽象/具象区分：具象

属性：

上位クラスである舗装種別の属性に従う。

位置：GM_Point

舗装種別の位置

<取得基準>

舗装種別の真位置及び方向を取得する。

表示角度：Number

オブジェクトの初期設定方向を基準「0」としたオブジェクトの表示角度。左回りの角度を「+」、右回りの角度を「-」で表す。

関連役割：

排水性舗装、他

排水性舗装、他で舗装されているものをいう。

上位クラス：舗装種別

抽象/具象区分：具象

属性：

上位クラスである舗装種別の属性に従う。

位置：GM_Point

舗装種別の位置

<取得基準>

舗装種別の真位置及び方向を取得する。

表示角度 : Number

オブジェクトの初期設定方向を基準「0」としたオブジェクトの表示角度。左回りの角度を「+」、右回りの角度を「-」で表す。

関連役割 :

透水性舗装

透水性舗装で舗装されているものをいう。

上位クラス : 舗装種別

抽象/具象区分 : 具象

属性 :

上位クラスである舗装種別の属性に従う。

位置 : GM_Point

舗装種別の位置

<取得基準>

舗装種別の真位置及び方向を取得する。

表示角度 : Number

オブジェクトの初期設定方向を基準「0」としたオブジェクトの表示角度。左回りの角度を「+」、右回りの角度を「-」で表す。

関連役割 :

路面区分引出線

舗装種別が対象とする箇所を指示する場合に使用する。

上位クラス : 舗装種別

抽象/具象区分 : 具象

属性 :

上位クラスである舗装種別の属性に従う。

形状 : GM_Curve

路面区分引出線の形状

<取得基準>

路面区分を表示する位置を明示する線を取得する。

関連役割：

路面区分境界線

舗装種別が異なる場合に表示する境界線をいう。

上位クラス：舗装種別

抽象/具象区分：具象

属性：

上位クラスである舗装種別の属性に従う。

形状：GM_Curve

路面区分境界線の形状

<取得基準>

舗装種別が変更する界線を取得する。

関連役割：

構造物

構造物には、構造物引出線、構造物名ほか、構造物区域線が含まれる。

上位クラス : 道路台帳項目データ

抽象/具象区分 : 抽象

属性 :

上位クラスである道路台帳項目データの属性に従う。

関連役割 :

構造物引出線

橋梁等構造物の名称・整理番号や規格を表示する際に使用する引出線をいう。

上位クラス : 構造物

抽象/具象区分 : 具象

属性 :

上位クラスである構造物の属性に従う。

形状 : GM_Curve

構造物引出線の形状

<取得基準>

構造物名や規格を表示する位置を明示する線を取得する。

関連役割 :

構造物名ほか

橋梁等構造物の名称やその規格をいう。

上位クラス : 構造物

抽象/具象区分 : 具象

属性 :

上位クラスである構造物の属性に従う。

位置 : GM_Point

注記の表示位置

<取得基準>

注記の表示位置及び方向を取得する。

縦横区分 : Number

縦横区分。横書きの場合は「0」、縦書きの場合は「1」とする。

表示角度 : Number

注記の表示方向を表す角度。左回りの角度を「+」、右回りの角度を「-」で表す。

字大 : Number

文字の大きさ。単位は、10分の1ミリメートル。

字あき : Number

文字の間隔。単位は、10分の1ミリメートル。

線号 : Number

文字の太さ（線号で表す）。1号の場合は「1」、2号の場合は「2」... 7号の場合は「7」とする。1号を太さ0.05mmとして、1号上がる毎に、太さが0.05mm加算される。7号は、太さ0.35mmとなる。

文字列 : CharacterString

注記文字列。

関連役割 :

構造物区域線

橋梁構造物の道路部区域を表示する。。

上位クラス : 構造物

抽象/具象区分 : 具象

属性 :

上位クラスである構造物の属性に従う。

形状 : GM_Curve

構造物区域線の形状

<取得基準>

構造物名や規格を表示する位置を明示する線を取得する。

関連役割 :

区 域

区域には、区割線、区間番号、区間番号引出線、未供用経路、道路区域線が含まれる。

上位クラス : 道路台帳項目データ

抽象/具象区分 : 抽象

属性 :

上位クラスである道路台帳項目データの属性に従う。

関連役割 :

区割線

路線の起点、終点や幅員変化箇所、横断要素変化箇所に表示する区切り線をいう。

上位クラス : 区域

抽象/具象区分 : 具象

属性 :

上位クラスである区域の属性に従う。

形状 : GM_Curve

区割線の形状

<取得基準>

区割り位置の界線を取得する。

関連役割 :

区間番号

該当する路線における区間番号をいう。

上位クラス : 区域

抽象/具象区分 : 具象

属性 :

上位クラスである区域の属性に従う。

位置 : GM_Point

注記の表示位置

<取得基準>

注記の表示位置及び方向を取得する。

縦横区分 : Number

縦横区分。横書きの場合は「0」、縦書きの場合は「1」とする。

表示角度 : Number

注記の表示方向を表す角度。左回りの角度を「+」、右回りの角度を「-」で表す。

字大 : Number

文字の大きさ。単位は、10分の1ミリメートル。

字あき : Number

文字の間隔。単位は、10分の1ミリメートル。

線号 : Number

文字の太さ（線号で表す）。1号の場合は「1」、2号の場合は「2」... 7号の場合は「7」とする。1号を太さ0.05mmとして、1号上がる毎に、太さが0.05mm加算される。7号は、太さ0.35mmとなる。

文字列 : CharacterString

注記文字列。

[関連役割 :](#)

区間番号引出線

区間番号を引き出して表示する際に使用する引出線をいう。

[上位クラス : 区域](#)

[抽象/具象区分 : 具象](#)

[属性 :](#)

上位クラスである区域の属性に従う。

形状 : GM_Curve

区間番号引出線の形状

<取得基準>

区割り位置の界線を取得する。

[関連役割 :](#)

未供用経路

未供用路線についてその経路を明示するために表示する線をいう。

上位クラス：区域

抽象/具象区分：具象

属性：

上位クラスである区域の属性に従う。

形状：GM_Curve

未供用経路の形状

<取得基準>

未供用路線の経路を取得する。

関連役割：

道路区域線

認定区域が現況道路と異なる場合に、道路区域を明示するための線をいう。

上位クラス：区域

抽象/具象区分：具象

属性：

上位クラスである区域の属性に従う。

形状：GM_Curve

道路区域線の形状

<取得基準>

認定区域が現況道路と異なる区域を取得する。

関連役割：

路線番号名称

路線番号名称には、路線番号、名称が含まれる。

上位クラス : 道路台帳項目データ

抽象/具象区分 : 抽象

属性 :

上位クラスである道路台帳項目データの属性に従う。

関連役割 :

路線番号

該当路線の路線番号をいう。

上位クラス : 路線名称

抽象/具象区分 : 具象

属性 :

上位クラスである路線番号名称の属性に従う。

位置 : GM_Point

注記の表示位置

<取得基準>

注記の表示位置及び方向を取得する。

縦横区分 : Number

縦横区分。横書きの場合は「0」、縦書きの場合は「1」とする。

表示角度 : Number

注記の表示方向を表す角度。左回りの角度を「+」、右回りの角度を「-」で表す。

字大 : Number

文字の大きさ。単位は、10分の1ミリメートル。

字あき : Number

文字の間隔。単位は、10分の1ミリメートル。

線号 : Number

文字の太さ（線号で表す）。1号の場合は「1」、2号の場合は「2」．．．7号の場合は「7」とする。1号を太さ0.05mmとして、1号上がる毎に、太さが0.05mm加算される。7号は、太さ0.35mmとなる。

文字列 : **CharacterString**

注記文字列。

関連役割 :

名称

該当路線の路線名称をいう。

上位クラス : 路線名称

抽象/具象区分 : 具象

属性 :

上位クラスである路線番号名称の属性に従う。

位置 : **GM_Point**

注記の表示位置

<取得基準>

注記の表示位置及び方向を取得する。

縦横区分 : **Number**

縦横区分。横書きの場合は「0」、縦書きの場合は「1」とする。

表示角度 : **Number**

注記の表示方向を表す角度。左回りの角度を「+」、右回りの角度を「-」で表す。

字大 : **Number**

文字の大きさ。単位は、10分の1ミリメートル。

字あき : **Number**

文字の間隔。単位は、10分の1ミリメートル。

線号 : **Number**

文字の太さ（線号で表す）。1号の場合は「1」、2号の場合は「2」．．．7号の場合は「7」とする。1号を太さ0.05mmとして、1号上がる毎に、太さが0.05mm加算される。7号は、太さ0.35mmとなる。

文字列 : **CharacterString**

注記文字列。

関連役割 :

起終点記号

起終点記号には、起点記号、終点記号が含まれる。

上位クラス : 道路台帳項目データ

抽象/具象区分 : 抽象

属性 :

上位クラスである道路台帳項目データの属性に従う。

位置 : GM_Point

起終点記号の位置

<取得基準>

起終点記号の真位置及び方向を取得する。

表示角度 : Number

オブジェクトの初期設定方向を基準「0」としたオブジェクトの表示角度。左回りの角度を「+」、右回りの角度を「-」で表す。

関連役割 :

起点記号

対象路線の起点に表示する記号をいう。

上位クラス : 起終点記号

抽象/具象区分 : 具象

属性 :

上位クラスである起終点記号の属性に従う。

<取得基準>

起点記号の真位置及び方向を取得する。

関連役割 :

終点記号

対象路線の終点に表示する記号をいう。

上位クラス：起終点記号

抽象/具象区分：具象

属性：

上位クラスである起終点記号の属性に従う。

< 取得基準 >

終点記号の真位置及び方向を取得する。

関連役割：

勾配

勾配には、勾配引出線、勾配幅員線、勾配幅員ティック線、勾配数値が含まれる。

上位クラス : 道路台帳項目データ

抽象/具象区分 : 抽象

属性 :

上位クラスである道路台帳項目データの属性に従う。

関連役割 :

勾配引出線

路線勾配を引き出して表示する際に使用する引き出し線をいう。

上位クラス : 勾配

抽象/具象区分 : 具象

属性 :

上位クラスである勾配の属性に従う。

形状 : GM_Curve

勾配引出線の形状

<取得基準>

勾配数値表示位置までの引き出し線を取得する。

関連役割 :

勾配幅員線

勾配引出線と合わせて、該当する路線勾配が示す範囲を示す線をいう。

上位クラス : 勾配

抽象/具象区分 : 具象

属性 :

上位クラスである勾配の属性に従う。

形状 : GM_Curve

勾配幅員線の形状

<取得基準>

該当する勾配数値が示す範囲線を取得する。

関連役割 :

勾配幅員ティック線

勾配数値を表示する際に使用する幅員線の両端に表示する。

上位クラス : 幅員

抽象/具象区分 : 具象

属性 :

上位クラスである勾配の属性に従う。

位置 : GM_Point

ティックの位置

<取得基準>

ティックの真位置及び方向を取得する。

表示角度 : Number

オブジェクトの初期設定方向を基準「0」としたオブジェクトの表示角度。左回りの角度を「+」、右回りの角度を「-」で表す。

関連役割 :

勾配数値

該当する区間の勾配数値をいう。

上位クラス : 勾配

抽象/具象区分 : 具象

属性 :

上位クラスである勾配の属性に従う。

位置 : GM_Point

注記の表示位置

＜取得基準＞

注記の表示位置及び方向を取得する。

縦横区分 : Number

縦横区分。横書きの場合は「0」、縦書きの場合は「1」とする。

表示角度 : Number

注記の表示方向を表す角度。左回りの角度を「+」、右回りの角度を「-」で表す。

字大 : Number

文字の大きさ。単位は、10分の1ミリメートル。

字あき : Number

文字の間隔。単位は、10分の1ミリメートル。

線号 : Number

文字の太さ（線号で表す）。1号の場合は「1」、2号の場合は「2」... 7号の場合は「7」とする。1号を太さ0.05mmとして、1号上がる毎に、太さが0.05mm加算される。7号は、太さ0.35mmとなる。

文字列 : CharacterString

注記文字列。

[関連役割 :](#)

曲率半径

曲率半径には、曲率半径引出線、曲率半径数値が含まれる。

上位クラス : 道路台帳項目データ

抽象/具象区分 : 抽象

属性 :

上位クラスである道路台帳項目データの属性に従う。

関連役割 :

曲率半径引出線

曲率半径を引き出して表示する際に使用する引き出し線をいう。

上位クラス : 曲率半径

抽象/具象区分 : 具象

属性 :

上位クラスである曲率半径の属性に従う。

形状 : GM_Curve

曲率半径引出線の形状

<取得基準>

曲率半径数値表示位置までの引き出し線を取得する。

関連役割 :

曲率半径数値

該当する区間の曲率半径をいう。

上位クラス : 曲率半径

抽象/具象区分 : 具象

属性：

上位クラスである曲率半径の属性に従う。

位置：GM_Point

注記の表示位置

＜取得基準＞

注記の表示位置及び方向を取得する。

縦横区分：Number

縦横区分。横書きの場合は「0」、縦書きの場合は「1」とする。

表示角度：Number

注記の表示方向を表す角度。左回りの角度を「+」、右回りの角度を「-」で表す。

字大：Number

文字の大きさ。単位は、10分の1ミリメートル。

字あき：Number

文字の間隔。単位は、10分の1ミリメートル。

線号：Number

文字の太さ（線号で表す）。1号の場合は「1」、2号の場合は「2」... 7号の場合は「7」とする。1号を太さ0.05mmとして、1号上がる毎に、太さが0.05mm加算される。7号は、太さ0.35mmとなる。

文字列：CharacterString

注記文字列。

関連役割：

5. 参照系

5.1. 座標参照系

座標参照系は、参照系識別子：JGD2011 /5 (X, Y)を採用する。

5.2. 時間参照系

時間参照系は、参照系識別子：GC / JSTを採用する。

6. データ品質

6.1. 品質要求及び品質評価手法

データ品質要素	データ品質副要素	データ品質適用範囲	データ品質評価尺度		データ品質評価手法	
			定義	適合品質水準	評価手法	
完全性	過剰	データ集合全体	データ集合（道路台帳項目データ）と参照データ（*補正の場合は、現地調査資料等、共用空間地図データへの移行作業の場合は、既存道路台帳図データ）に含まれる個々のデータ同士の一対一の比較を行い、対応が成立した個数を数え、データ集合内に存在する過剰なデータ（エラー）の割合（誤率）を計算する。次の場合、エラーとする。 ・参照データと対応関係がとれない地物インスタンスがデータ集合内に存在する場合。 ・データ集合内に同一の地物インスタンスが重複して存在する場合。本体を除き、重複している余分なデータの個数をすべてエラーとして数える。 誤率（％）＝（過剰なデータ数／参照データに含まれるべきデータの総数）×100	誤率：5%以内	抜取検査	【補正作業の場合】 補正対象延長の2%を抽出して評価を実施する。評価の手法は、目視点検とする。 【共用空間地図データへの移行作業の場合】 移行作業延長の2%を抽出して評価を実施する。評価の手法は、目視点検とする。 ※評価手法について、監督員と協議の上、別手法による場合は、この限りではない。
	漏れ	データ集合全体	データ集合（道路台帳項目データ）と参照データ（*補正の場合は、現地調査資料等、共用空間地図データへの移行作業の場合は、既存道路台帳図データ）に含まれる個々のデータ同士の一対一の比較を行い、対応が成立した個数を数え、データ集合から漏れているデータ（エラー）の割合（誤率）を計算する。次の場合、エラーとする。 ・参照データと対応すべき地物がデータ集合内に存在しない場合。 誤率（％）＝（漏れのデータ数／参照データに含まれるべきデータの総数）×100	誤率：5%以内	抜取検査	
論理一貫性	書式一貫性	データ集合全体	道路台帳項目データの書式である数値地形図データとして、その記載方法に誤りがあってはならない。	エラー率：0%	全数検査	【補正作業の場合】 プログラムによる全数検査を実施する。 【共用空間地図データへの移行作業の場合】 プログラムによる全数検査を実施する。 ※評価手法について、監督員と協議の上、別手法による場合は、この限りではない。
	概念一貫性	データ集合全体	道路台帳項目データ製品仕様書「応用スキーマ」に規定された内容でデータが作成されていないといけない。	矛盾率：0%	全数検査	
	定義域一貫性	データ集合全体	地物属性の値が、応用スキーマに規定される定義域の範囲に含まれていない場合、その個数をエラーとして数え、その割合（誤率）を計算する。 誤率（％）＝（定義域外の値をもつ地物属性の数／データ集合内の地物属性の総数）×100	エラー率：0%	全数検査	
	位相一貫性	データ集合全体	データ集合（道路台帳項目データ）がもつ位相属性及び位相を含む幾何属性の一貫性を検査し、エラーの割合（誤率）を計算する。 誤率（％）＝（位相一貫性のエラーの数／検査対象となるアイテムの総数）×100 図郭外にデータがあつてはならない。 図郭間に接合エラーがあつてはならない。 同一要素内で重複データがあつてはならない。	エラー率：0%	全数検査	
位置正確度	絶対正確度	—	道路台帳項目データに関する位置精度評価は、実施しない。 ※共用空間地図データもしくは、道路台帳地形図データに展開されるため、位置精度の評価は、その地形図データの評価に置き換えるため。	—	—	—
主題正確度	分類の正しさ	データ集合全体	データ集合（道路台帳項目データ）と参照データ（*補正の場合は、現地調査資料等、共用空間地図データへの移行作業の場合は、既存道路台帳図データ）の一対一の比較を行い、応用スキーマに規定した分類に正しく分類されているか。 誤率（％）＝（分類に誤りがあるデータ数／参照データに含まれるデータの総数）×100	誤率：5%以内	抜取検査	【補正作業の場合】 補正対象延長の2%を抽出して評価を実施する。評価の手法は、目視点検とする。 【共用空間地図データへの移行作業の場合】 移行作業延長の2%を抽出して評価を実施する。評価の手法は、目視点検とする。 <u>評価は、既存道路台帳図データに誤りがないことが前提であるため、当該データの確認後、実施すること。</u> ※評価手法について、監督員と協議の上、別手法による場合は、この限りではない。
	非定量的主題属性の正しさ	データ集合全体	データ集合（道路台帳項目データ）と参照データ（*補正の場合は、現地調査資料等、共用空間地図データへの移行作業の場合は、既存道路台帳図データ）の一対一の比較を行い、応用スキーマに規定した主題属性が正しく取得されているか。 誤率（％）＝（地物属性のエラー数／参照データに含まれるデータの総数）×100 ・地物属性“分類コード”の値が正しくない場合 ・地物属性“図形区分”の値が正しくない場合 ・地物属性“間断区分”の値が正しくない場合。 ・地物属性“文字列”の値が正しくない場合。	誤率：5%以内	抜取検査	

7. データ製品配布

7.1. 書式名称

岡山市公共測量作業規程 数値地形図データファイル仕様

7.2. 符号化規則

岡山市公共測量作業規程 数値地形図データファイル仕様に準拠

7.3. 文字集合

Shift-JIS

7.4. 言語

日本語

7.5. 配布単位

道路台帳図データ図郭単位

7.6. 配布媒体名

CD-R

8. メタデータ

空間データ製品に関するメタデータは、次のとおり作成する。

8.1. メタデータの作成指示

『道路台帳電子化業務』及び『道路台帳補正業務』に基づく、業務対象範囲において公共測量申請を行う場合、台帳項目データ製品に関するメタデータは、次の通り作成する。

8.2. メタデータの形式

メタデータは、JMP2.0（日本版メタデータプロファイル）に準じて記述する。

8.3. 記載項目

空間データ単位及び各品質評価にかかる部分のメタデータの作成を行う。

8.4. 作成単位

メタデータは、空間データ製品を単位として作成する。

9. その他

特になし。